



大妻中学高等学校 教頭

井上 小百合

大妻女子大学茶道部創立六十周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。長く中高の茶道部コーチとしてご指導いただいた菅生先生から、大学の茶道部を創始された柳澤宗淵先生と共に大学茶道部のお稽古や合宿にも一緒に過ごされたことを伺ったことがございます。中高と大学の茶道部のご縁の深さを知り、六十一年の重みに改めて敬意を表するものでございます。

また、これまで度々雪待茶会に高校茶道部も参加させていただき、大きな場での茶会の経験は、きっと生徒たちの心に深く印象づけられたこととありがたく思っております。

本校では、中学二年生が茶

道を道徳の授業の中で学んでおり、日本の伝統文化を学び、真の国際人となる素養の基礎になっています。茶道の先生から教えていただく思いやりの心、感謝の心は、日頃教員から聞くのとはまた違って、生徒の心につと入って行くように思われます。

和室で心静かにお茶を点てたり、一服のお茶をいただくことは、今のせわしない世の中ではとても贅沢なことかもしれません。

日本の誇る総合芸術である茶道を嗜む若い方々のこれからの活躍を祈ってやみません。そして、茶道部が次の十年に向けて益々発展されますように祈念いたします。



茶道部活動報告

二〇〇八年 大妻祭 添釜茶会

昨年の大妻祭の添釜茶会は、十一月二日、三日に行われました。内容は、上級生は大妻庵で、下級生は広間での薄茶席でした。

下級生にとって、この添釜茶会は初めて一般のお客様にお茶をお出しする茶会です。始終緊張の連続でしたが、人前でのお点前や、初めてのお客様との対話など、とても勉強になりました。

上級生は全員着物を着用し、心身ともに引き締まった中、普段とは異なる着物での動きをこなします。大妻祭でのみ公開される大妻庵での茶会ということで、お客様との会話もはずみ、和やかな茶会となりました。

今年の大妻祭は昨年より一週間ほど早い十月二十四日、二十五日に行われます（八頁に詳細を載せてあります）。

昨年の反省を生かし、今年度の添釜茶会にはお客様に、より満足いただけるように努力して参りたいと思っておりますので、是非お越し下さい。



平成20年度 大妻祭 添釜茶会 2008年11月2日

《3列目左から》山口茉莉奈、樹谷雅美、長岡桜子、林沙也加、倉島緑 《2列目左から》小林智織、西野裕紀子、浅利美穂、小野麻里子 《1列目左から》金子理恵、平野理奈、大森正司先生、浅賀宗容先生、松川容子、浮田すみれ



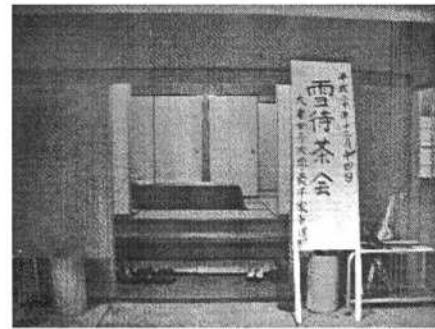
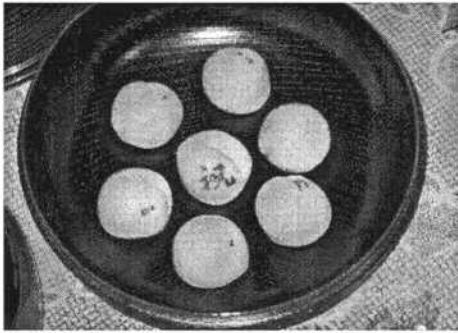
二〇〇八年 雪待茶会

昨年の雪待茶会は、十二月十四日に靖国神社洗心亭で行いました。内容は、上級生は広間での薄茶席、下級生は立札での薄茶席でした。

当日は朝から雨が降り、寒い一日でしたが、大勢のお客様がお越しくださいました。

大妻学院創立百周年ということで広間のお菓子は百周年をイメージした「百歳（ももとせ・写真）」を特別に作っていただきました。

また、「大妻コタカと茶道部のあゆみ」と題して前顧問



つも隣でほほ笑んでいてくださるような気持ちになりました。

今年の雪待茶会は十二月十三日に開催いたします。（八頁に詳細を載せてあります）。今年は創立六十周年ということで、毎年お借りする靖国神社の洗心亭の他に、行雲亭もお借りします。また、大妻中学高等学校の茶道部と合同で行う、規模の大きなお茶会になります。

部員全員がこのような大規模かつ合同のお茶会というものが初めてなので、不安も大きいですが、お客様に楽しんでいただける茶会になるよう、精一杯お稽古に励みたいと思います。皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

このお話により茶道部とコタカ先生がどのような歩み、発展していったのか理解が深まりました。お話を頂いたら後、大妻庵をみると感慨深く、これからもこの大妻庵を大切に後世に伝えていかなければと思います。

私たちは残念ながらコタカ先生ご本人にお会いしたことがありません。が、石井先生のお話をお聞きして、コタカ先生が私達大妻生全員の母であるような、そしてい



第4回 グリーンティール・ジャパングランプリ

昨年年一月十七日に第四回グリーンティール・ジャパングランプリの最終審査が行われました。

この大会は日本茶普及協会主催で日本文化の代表である「日本茶」について、日本を代表する人材を募集する趣旨で行われています。茶道部からは浮田すみれさんが応募、最終審査まで残り、見事準グランプリを受賞しました。



浮田 すみれ

このような賞をいただき本当に感激しています。

プレゼンテーションでは、私の茶道を学ぶことで学んだ、和敬静寂と、現在の茶道部での活動や活動での心構えなどを、パワーポイントを見て頂きながら伝えました。

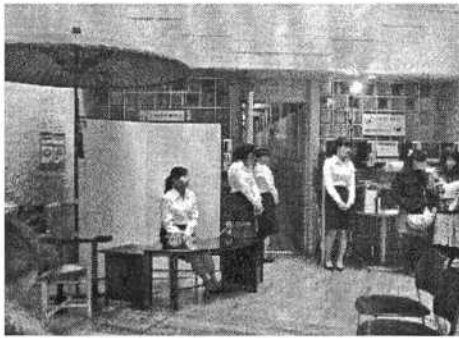
私は日本茶を育てているわけでも、研究しているわけでもなく今回応募を勧められた際とても迷いましたが、高校時代から今までの茶道部の生活を振り返り、このプレゼンテーションを考えて見たとき、お茶と私、茶の心と対面して、今更の様にその、深さ、歴史、文化、そして思いやりを理解することができました。最近茶道をやってみたい。お茶会に行ってみたい。という方が増えています。私が茶道を続け、お茶に関わっていくことで、少しでも多くの人が和の心になれるきっかけになれば、幸いです。



さくら茶フェスティバル 二〇〇九

三月二十九日に「さくら茶フェスティバル二〇〇九 in 大妻」が、大妻女子大学地下アトリウム及び一階で行われました。

さくら茶フェスティバルは、千代田区のイベントで、主に「茶」を通じて、区民、地域社会、さらには国内外へと伝統文化を広める安心安全の街づくりを目的としています。茶道部はこのイベントに四年ほど前から毎年参加しており、年中行事のひとつになりつつあります。



今年はおトリウムに立礼席を設け、お茶会を行いました。普段のお茶会とは様子が異なったイベントのブースでのお茶会でしたので、戸惑うこともありましたが、お客様との距離が縮まった楽しいお茶会になりました。

また、会場には海外のお茶についてのブースもあり、日本だけではなく紅茶やモロツコのお茶に触れることもでき、日本の茶道のみならず世界のお茶に触れるという貴重な体験にもなりました。さくら茶フェスティバルへの参加はまだまだ手探り状態ですので、お客様に楽しんでいただけるよう来年に向けて工夫をしていきたいと思っております。

夏合宿 二〇〇八

昨年の夏合宿は京都に行きました。合宿の感想はとにかく、楽しく、充実していました。

宿泊は庭園と茶室がとてきれいな妙建寺というお寺でした。妙建寺の近くにある表千家の方にお道具を貸していただき、浴衣を着てお稽古をしました。

お稽古は、普段よりも細かなところまで先生に見ていただくことができ、とても勉強になりました。



の工場を訪れ、抹茶ができる過程を間近で見るといいう貴重な体験もできました。普段とは違う場所、違う茶室、また違うお道具でお稽古できたことが嬉しく、楽しかったです。



茶道部の沿革

- 一九四九年 茶道部創立。師範に柳澤宗淵先生を迎える
- 一九六六年 茶室「大妻庵」が誕生
- 一九七九年 柳澤宗淵先生が引退。後任に齋藤宗雅先生を迎える
- 一九八四年 創立三十五周年記念茶会を催す
- 一九八九年 創立四十周年を迎え、記念新聞「茶道部だより」を創刊
- 一九九〇年 校舎改築によりC棟地下一階に大妻庵が復元、完成
- 一九九四年 創立四十五周年を迎え、「茶道部だより」を刊行
- 一九九九年 創立五十周年を迎え、「茶道部だより」を刊行
- 二〇〇三年 齋藤宗雅先生が引退。後任に浅賀宗容先生を迎える
- 二〇〇四年 創立五十五周年を迎える
- 二〇〇八年 大妻学院創立百周年雪待茶会を催し、記念講演を開催
- 二〇〇九年 創立六十周年を迎え、現在に至る

お茶会の御案内

大妻祭 添蓋茶会

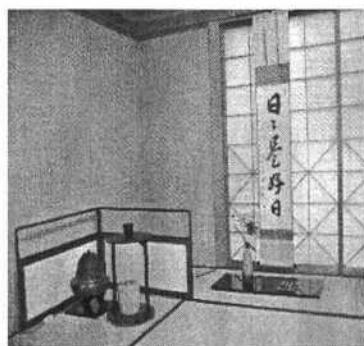
・日時 二〇〇九年十月二十四日(土)、二十五日(日)

※開催時間は未定ですが、昨年は一
日目は十時半から十五時、二日目
は十時半から十二時半でした。詳
しく決まりましたらホームページに
ジに掲載する予定です。

・場所 大妻女子大学地下一階
アトリウム奥 和室・大妻庵

・内容 広間 薄茶席
大妻庵 薄茶席

・席料 五〇〇円(予定)



創立六十周年記念 雪待茶会

・日時 二〇〇九年十二月十三日(日)

※開催時間は未定ですが、昨年
は十時半から十六時までで
した。

・場所 靖国神社 洗心亭・行雲亭

・内容 【洗心亭】

広間 薄茶席
立礼席 薄茶席

【行雲亭】
広間 薄茶席

※創立六十周年記念雪待茶会は大
妻中高の茶道部と合同で行いま
す。詳しい内容が決まりましたら
ホームページに掲載する予定で
す。

・席料 未定



編集後記

今年の茶道部だよりを発行するにあたり、
年二回の発行ということが最初から決定し
ていたため、内容をどうするかが常に悩みの
種でしたが、部員や先生方のご協力、ご指導
のお陰で何とか発行に至ることができまし
た。この場をお借りして御礼申し上げます。
十二月の創立六十周年記念雪待茶会で、茶
道部だよりをもう一部発行予定ですので、そ
ちらもご一読いただけると幸いです。ございま
す。最後までお目通しいただき、ありがとうございます。

茶道部だより 創立60周年記念セレモニー特別号

発行日 2009年8月30日(日)
 発行者 大妻女子大学茶道部
 〒102-0075
 東京都千代田区三番町12番地
 責任者 林 沙也加
 倉島 緑
 Mail otsumasadou@yahoo.co.jp
 HP http://otsumasadou.web.fc2.com/index.html
 印刷 株式会社 Sun Fuerza